

(様式1)

学校番号 (小41)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立伊佐見小学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・学校運営の基本方針に沿って、子供のことを第一に考えた意見交換を行い、熟議を進めていくとともに、保護者や地域を巻き込んだ教育活動にしていく方法を考えていく。
- ・CSボランティアの活動を「子供たちの成長のために必要な活動」と捉え、引き続き人材確保を進めるとともに、活動内容を広げていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

○学校運営の基本方針を理解し、それぞれの立場で意見を出して、多様な視点から学校・保護者・地域ができそうなことについて熟議することができたから。

●今年度の取り組みの課題を議論し、来年度の学校運営の方針（方向性）についての議論にもっと時間を割くことで、熟議により進展が見られ、さらに前進すると考えるから。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

○それぞれの立場や役割を理解し、「子供のために」という共通の思いをもって熟議を進めることができたから。

●学校支援CDのおかげで支援活動に進展が図られているが、支援が地域・保護者の一部のみに限られているので、支援の輪を広げる方法を熟議できるとよかったから。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

●学校HPやさくら連絡網、回覧板でCSだよりを発信しているが、その他の情報発信は少ないから。

●学校支援が増えるよう、情報発信の内容を訴求力があるものに工夫していく必要があると考えるから。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

・児童及び学校における課題をきちんと捉え、どのように教育活動の充実を図るのか具体的に熟議する。

・地域・保護者が積極的に参加したくなる「持続可能な支援活動」の方法を考えていく。